



長坂谷公園 汗かき通信



★ vol.8 門松を作って新年を迎えよう ★

こんにちは。気づいてみればすでに今年も残り数えられるしか日にちが残っていません。今年やり残したことはないでしょうか？毎年年末はなぜこんなにも忙しいのかビックリしてしまいます。気温も下がり、乾燥気味になってきましたので皆様、健康管理にはより一層、気を付けなければいけませんね。

さて、今回の汗かき通信では、先日行ったイベントの「ミニ門松づくり」の紹介をしていきたいと思います。新年に欠かせない門松ですが、我々、緑とコミュニティーグループが管理している12公園には、その門松の材料となる竹や松が多くあります。間伐や剪定などの管理を行う上で発生するその材料を最大限生かし

素敵な新年を迎えられるようお願いを込めてミニ門松づくりを実施しました。今回使用した門松の材料は旭区の今川公園の孟宗竹、神奈川区の神の木公園のクロマツ、門松を彩るセンリョウは神奈川区にある常盤公園より採取しました。

12月21日のイベント当日は、例年であれば10組の募集をしているのですが、「蜜」を避けるために午前と午後の2部制にしコロナウイルス対策をしたうえで実施しました。合計9組と多くの皆様に参加して頂きました。たくさんのご参加ありがとうございました。

まず初めに、参加者の皆さんには、まず初めに受けになる竹の切り出しを行っていただきました。なかなか普段の日常生活では、ノコギリを使うことがない、さらには竹を切るなんてことは初めてだと言った声を多く聞きました。竹は繊維がいっぱい詰まっている為、専用の竹挽用のノコギリを使って切ります。慣れるまでは滑ってしまいなかなか切るのが大変です。切る最後はゆっくりとノコギリを引かないと繊維がめくれてしまいます。参加者の皆さんは苦戦していましたが、終わるころには皆さん上達していました。



続いてメインの竹を据えていきます。この竹は節のある所を斜めに切って「笑っているように」見えるようあらかじめ加工をしておきました。周りに砂と松葉を入れて固定させます。

バランスを考えながら松葉をひたすら詰めるという単純作業で皆さん集中していました。

最後にセンリョウを飾り付け、シュロ縄で飾り結びを行い完成です。

毎年なんとなく街で見かけている門松はこんな感じで作られているんです。近年、街で見かける門松は、プラスチック製であったり独特の表現をしているものも多くありますが、こうやって自然本来の素材を使って作る門松はより一層豪華に見えます。今回のイベントではそんな門松づくりの中のほんの一部の工程でしたが皆さんに門松づくりの楽しさを味わっていただけたのではないのでしょうか。このような今までと違った視点で街の門松を見てみるといろいろな門松があって面白いですので是非注目してみてくださいね♪

長坂谷公園でも、今年はレストハウスの入口に大きな門松を作る予定です。お時間のあるときに長坂谷公園オリジナルの門松を見に来てみてくださいね。最後に今回イベントに参加して下さった皆様の作品を紹介します。



長坂谷公園 ☎045-934-5045
指定管理者 緑とコミュニティーグループ
<https://nagasakadanikouen.exblog.jp/>



よいお年をカブ!

Vol.9は1月下旬ごろを予定しています。